



# 2020年5月期第1四半期 決算説明資料

東海ソフト株式会社

証券コード：4430



# 東海ソフト株式会社

代表

代表取締役社長

伊藤 秀和

設立

1970年

本社

愛知県名古屋市

資本金

6億4,558万円

従業員

468名

(2019年5月末日)

東証市場第2部

名証市場第2部

証券コード

4430

主な加盟団体



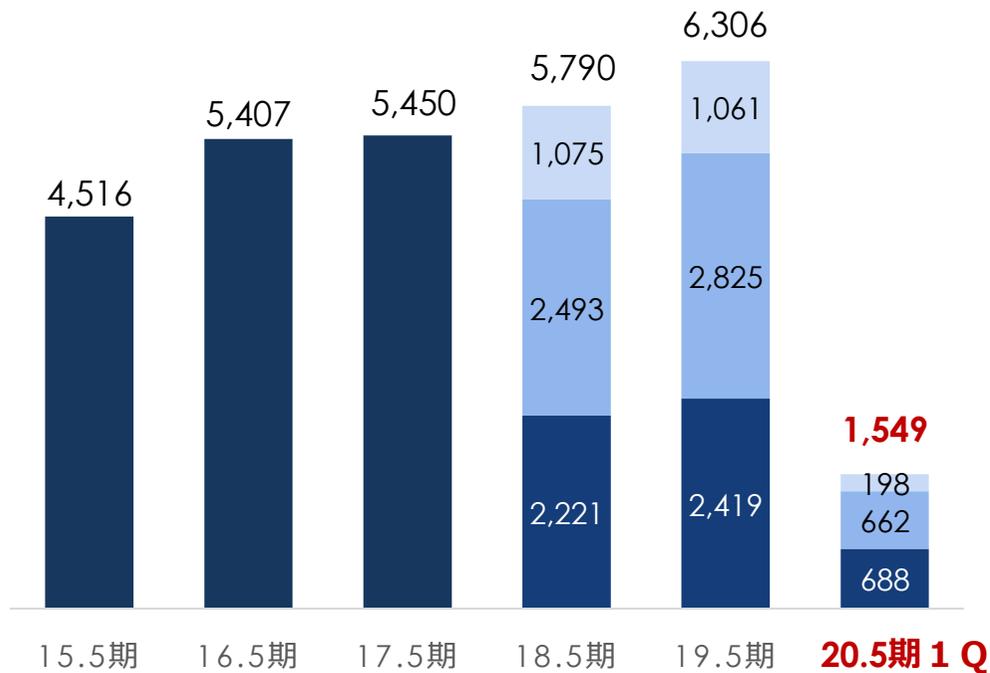


# 事業報告

## 2020年5月期第1四半期は、過去最高の売上と経常利益を達成

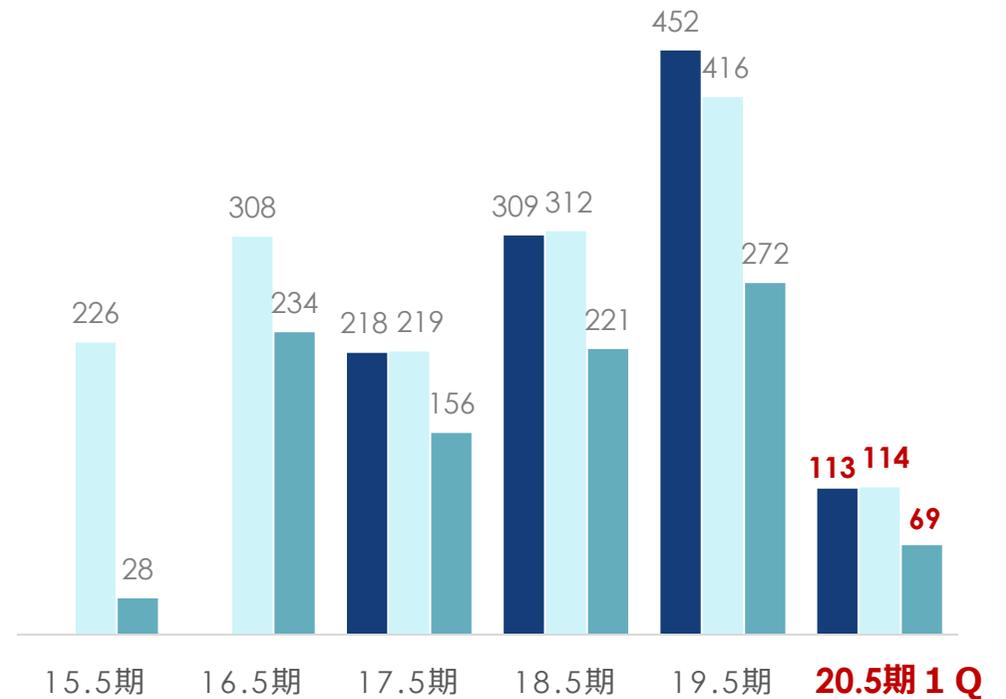
売上高の推移 (百万円)

- 金融・公共関連事業
- 製造・流通及び業務システム関連事業
- 組込み関連事業



利益の推移 (百万円)

- 営業利益
- 経常利益
- 当期純利益





## 2020年5月期業績予想に対する進捗率

	2020年5月期 予想	2020年5月期 1Q実績	対予想 進捗率
売上高 (百万円)	6,550	1,549	23.7%
販売管理費 (百万円)	992	229	23.2%
営業利益 (百万円)	456	113	24.9%
経常利益 (百万円)	460	114	24.8%
純利益 (百万円)	293	69	23.8%
1株当たり純利益 (円)	125.38	29.83	23.8%

	2019年5月期1Q※		2020年5月期1Q		前年同四半期比	
	実績	対売上比率%	実績	対売上比率%	増減値	増減率%
売上高	1,253	—	1,549	—	+296	+23.6
売上総利益	244	19.5	343	22.2	+99	+40.6
販売費及び一般管理費	208	16.6	229	14.8	+21	+10.2
営業利益	35	2.9	113	7.3	+77	+217.8
経常利益	36	2.9	114	7.4	+78	+217.3
当期純利益	18	1.5	69	4.5	+50	+267.4
1株当たり当期純利益 (円)	11.57	—	29.83	—	—	—
自己資本利益率(%)	50.07	—	63.93	—	—	—

(注) 2019年5月期第1四半期の各数値は、当社として正確性について万全を期しておりますが、金融商品取引法に基づく公認会計士監査を受けた数値ではありません。

1

第1四半期売上高及び経常利益において過去最高を記録

2

2019年11月1日付（効力発生日）で株式分割を実施予定

3

本社およびソフトウェア開発センター建設用地の取得

4

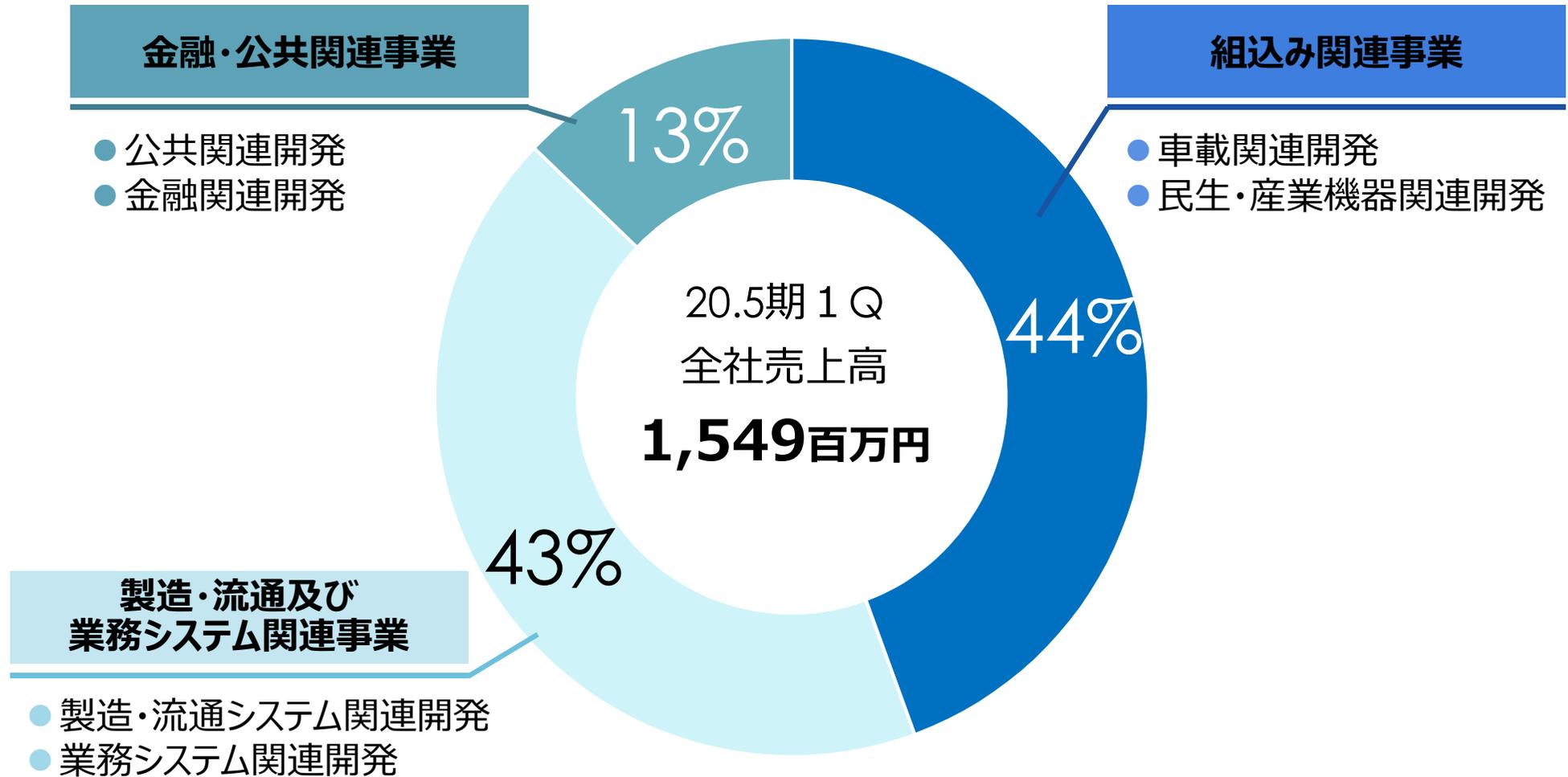
AI・IoT・エッジコンピューティング関連技術へ先行投資

5

基幹業務システムの開発を本格化

（注）上記事項の内、第2項・第3項は、2020年5月期第1四半期の後発事象であります。

金融・公共関連事業比率の減少は、その他事業の好調な結果によるものです。



## 事業区分別売上の推移

	2019年5月期1Q ※	2020年5月期1Q	対前年比 (増減率)
全社売上高 (百万円)	1,253	1,549	+23.6%
組込み関連事業	534	688	+28.8%
製造・流通及び 業務システム関連事業	527	662	+25.6%
金融・公共関連事業	191	198	+3.8%

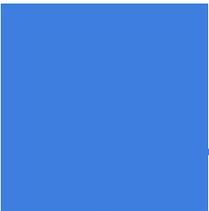
(注) 2019年5月期第1四半期の各数値は、当社として正確性について万全を期しておりますが、金融商品取引法に基づく公認会計士監査を受けた数値ではありません。

## 事業区分別売上総利益の推移

	2019年5月期 1Q ※	売上 総利益率	2020年5月期 1Q	売上 総利益率	対前年比 (増減率)
全社(※1) (百万円)	244	19.5%	343	22.2%	+40.6%
組込み関連事業	97	18.2%	128	18.7%	+32.6%
製造・流通及び 業務システム関連事業	138	26.2%	182	27.5%	+31.7%
金融・公共関連事業	36	18.9%	34	17.2%	△5.2%

- (注) 1. 当社は単一セグメントでありますので事業区分別総利益の合計は損益計算書の売上総利益と一致いたしません。  
 2. 2019年5月期第1四半期の各数値は、当社として正確性について万全を期しておりますが、金融商品取引法に基づく公認会計士監査を受けた数値ではありません。

# 事業区分別売上



組込み関連事業

# 組込み関連事業のトピックス

1

**APTJ社「Julinar(AUTOSARパッケージソフト)」が正式リリース、AUTOSAR関連開発売上が増加**

2

**MBD関連の開発技術教育が進捗、関連技術の受注が拡大**

3

**産業機器メーカーの新製品・新技術開発が堅調に推移**

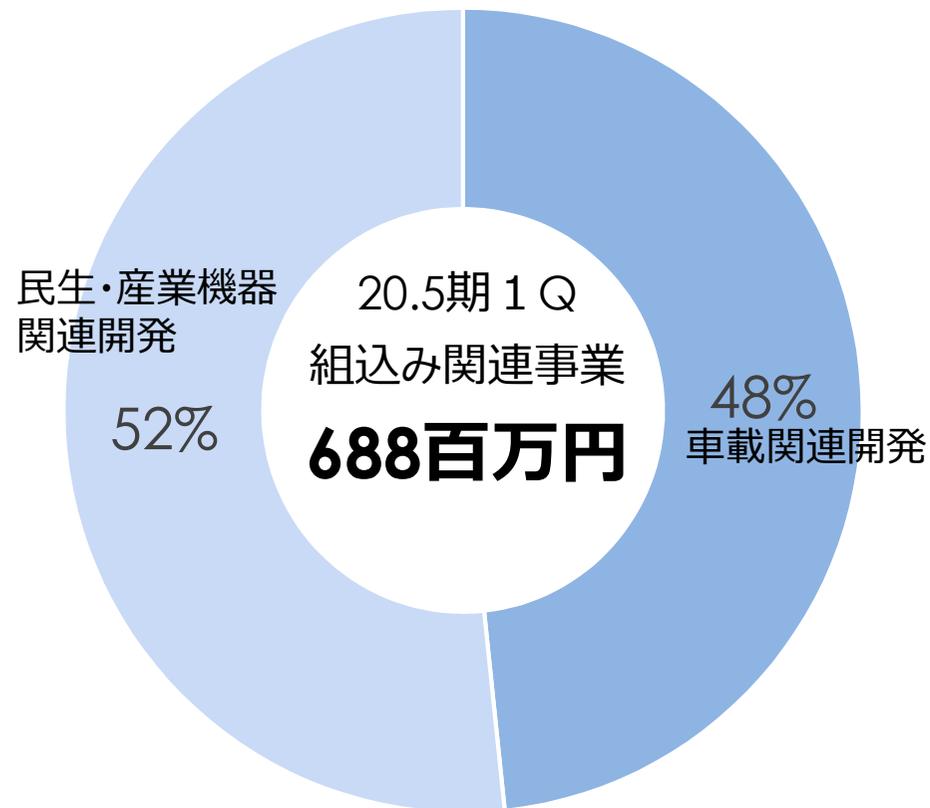
APTJ社は、名古屋大学発のAUTOSARソフトウェアプラットフォーム開発会社（2014年設立）  
AUTOSARは、欧州の自動車関連メーカーが中心となり策定された車載組込ソフトウェアの標準規格  
MBD(Model Based Development)は、数学・物理モデルをベースにソフトウェアの仕様や動作を定義・確認する開発手法

## 組込み関連事業

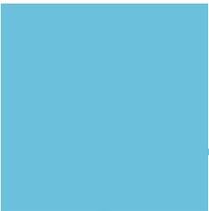
### ■ 車載及び産業機器の新技术・新製品に関する開発事業

◆ 車載関連では**トヨタグループ**が**64.7%**

◆ 民生・産業機器関連では、**富士電機**が**81.0%**



# 事業区分別売上



製造・流通及び業務システム関連事業

# 製造・流通及び業務システム関連事業のトピックス

1

**製造実行管理システムパッケージ（Apriso）関連開発が拡大**

2

**国内製造業・物流業からの引合いは好調、売上も堅調に推移**

3

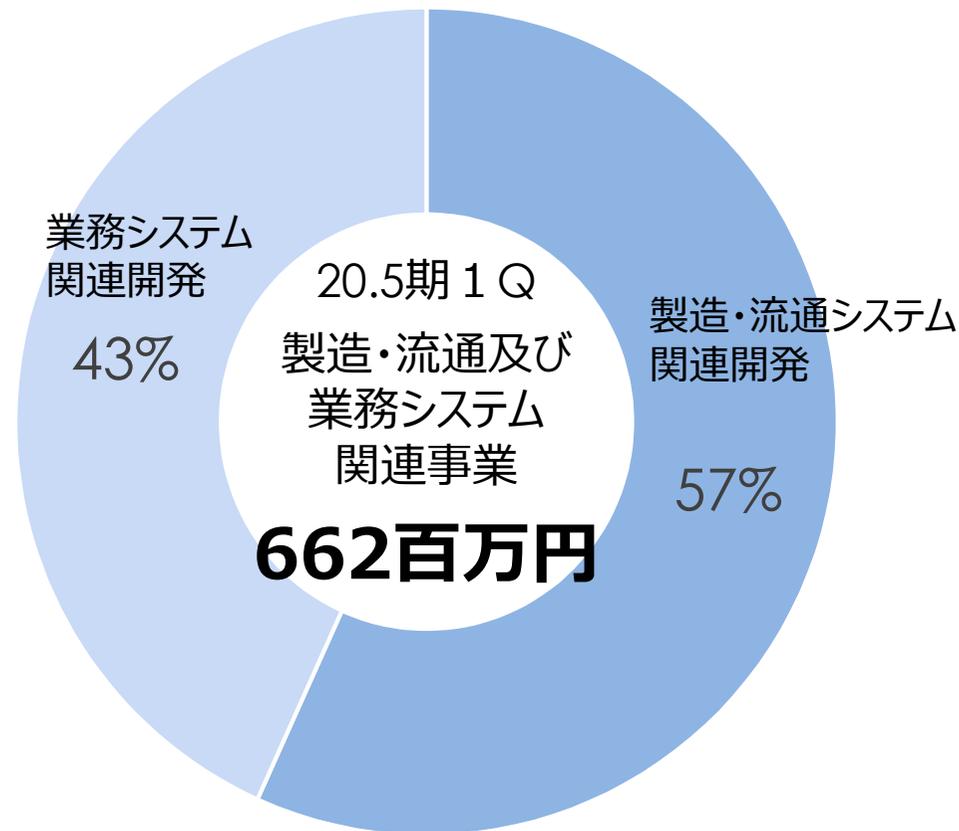
**エッジコンピューティング関連技術開発にチャレンジ**

製造実行管理パッケージ「Apriso」は、ダッソー社（仏）の製品  
エッジコンピューティングは、生産設備等の近くに配置された小型コンピュータによる分散処理方式の総称

## 製造・流通及び業務システム関連事業

- 製造・物流業を支える多彩な開発事業を展開

2020年5月期第1四半期の取引先は**110社**  
**上位9社売上が全体の50.3%**



# 事業区分別売上



金融・公共関連事業

# 金融・公共関連事業のトピックス

1

**公共関連開発は順調に推移、堅調な売上実績**

2

**今後の大規模公共関連開発につながる開発案件を受注**

3

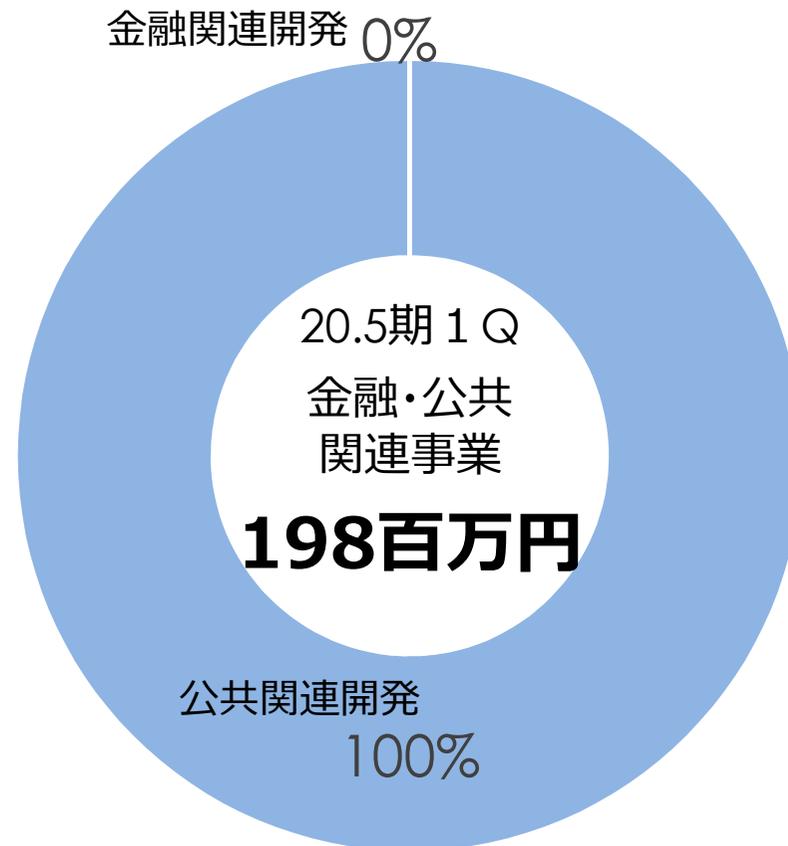
**金融関連開発の要員を、公共及びその他事業へ再配置**

## 金融・公共関連事業

- 大手SIerのパートナー企業の一員として、安定した顧客基盤の事業を展開

### ◆ 日立グループが100%

メガバンク案件の終了にともない、金融関連開発要員を公共及びその他事業へ再配置



SIerとは、ソフトウェアやコンピュータハードウェアを一括受注しシステム開発を請負う事業者



# 後発事象



**2019年11月1日付（効力発生日）で株式分割（1：2）を実施予定**

## 目的

**1 株式流動性の向上**

**2 株主層の拡大**

2019年9月30日付で、株式分割に加え東証1部・名証1部指定替えを目指すことをIR

## 本社及びソフトウェア開発センター（仮称）建設用地取得

### 目的

1

分散した開発拠点を集約し、  
交通至便地（リニア開通）へ移転

2

事業間連携による開発力の強化

3

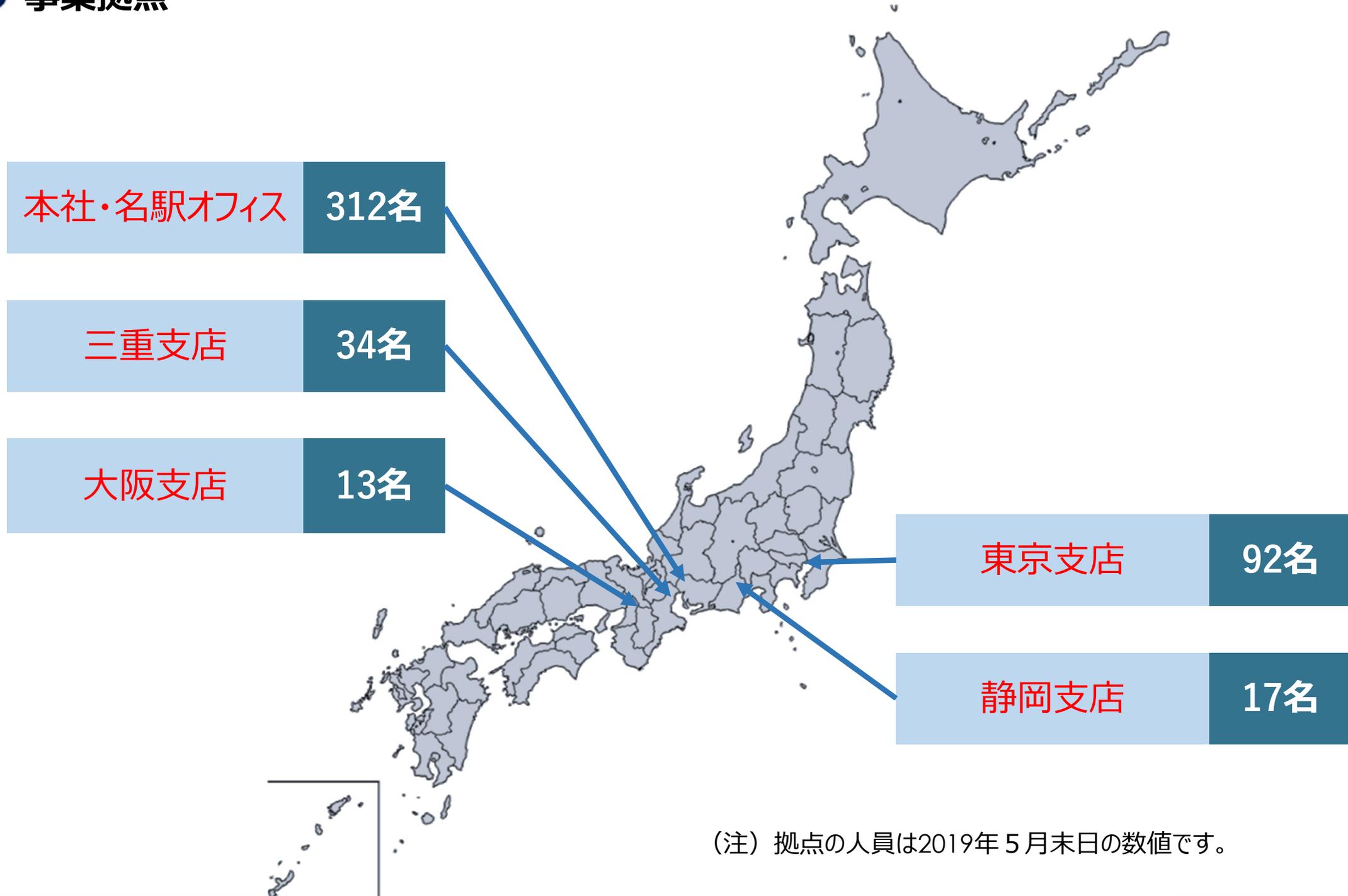
開発ツールや開発ノウハウの共有

リニア中央新幹線は2027年の開業予定

The background features a light blue gradient with a large, white-outlined 'TS' logo on the right side. On the left, there are several lines of binary code (0s and 1s) that appear to be receding into the distance, creating a sense of depth and digital data flow.

# 参考資料

2019年5月期決算説明資料からの抜粋



日本の産業力の要である製造業をソフトウェア技術で支えてきました。

(億円)

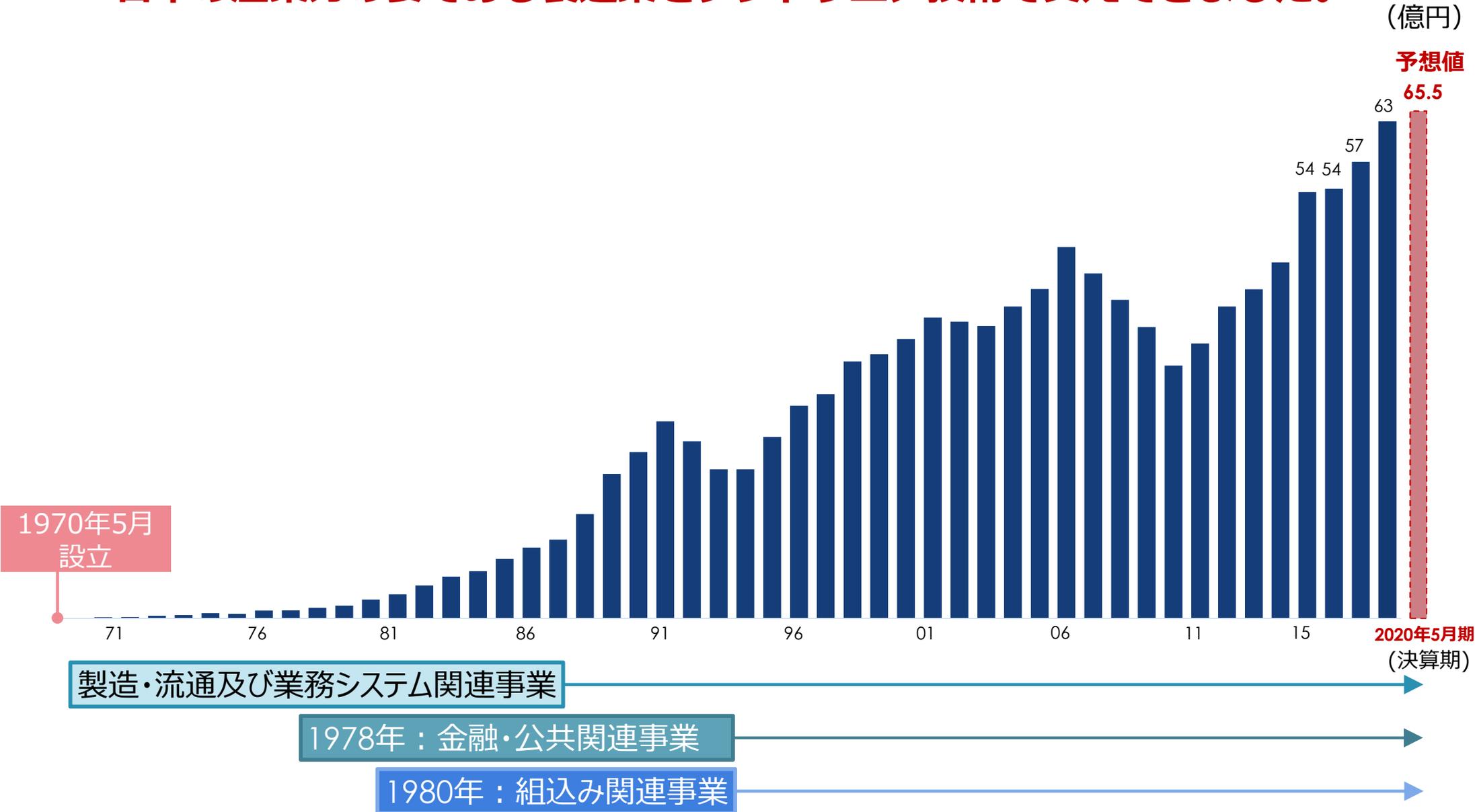
予想値

65.5

63

57

54 54



1

対売上経常利益率7%達成と株主還元（配当金30円）

2

採用の強化と更なる社員教育の充実

3

業務ソリューション分野の強化（2025年問題を商機と捉え）

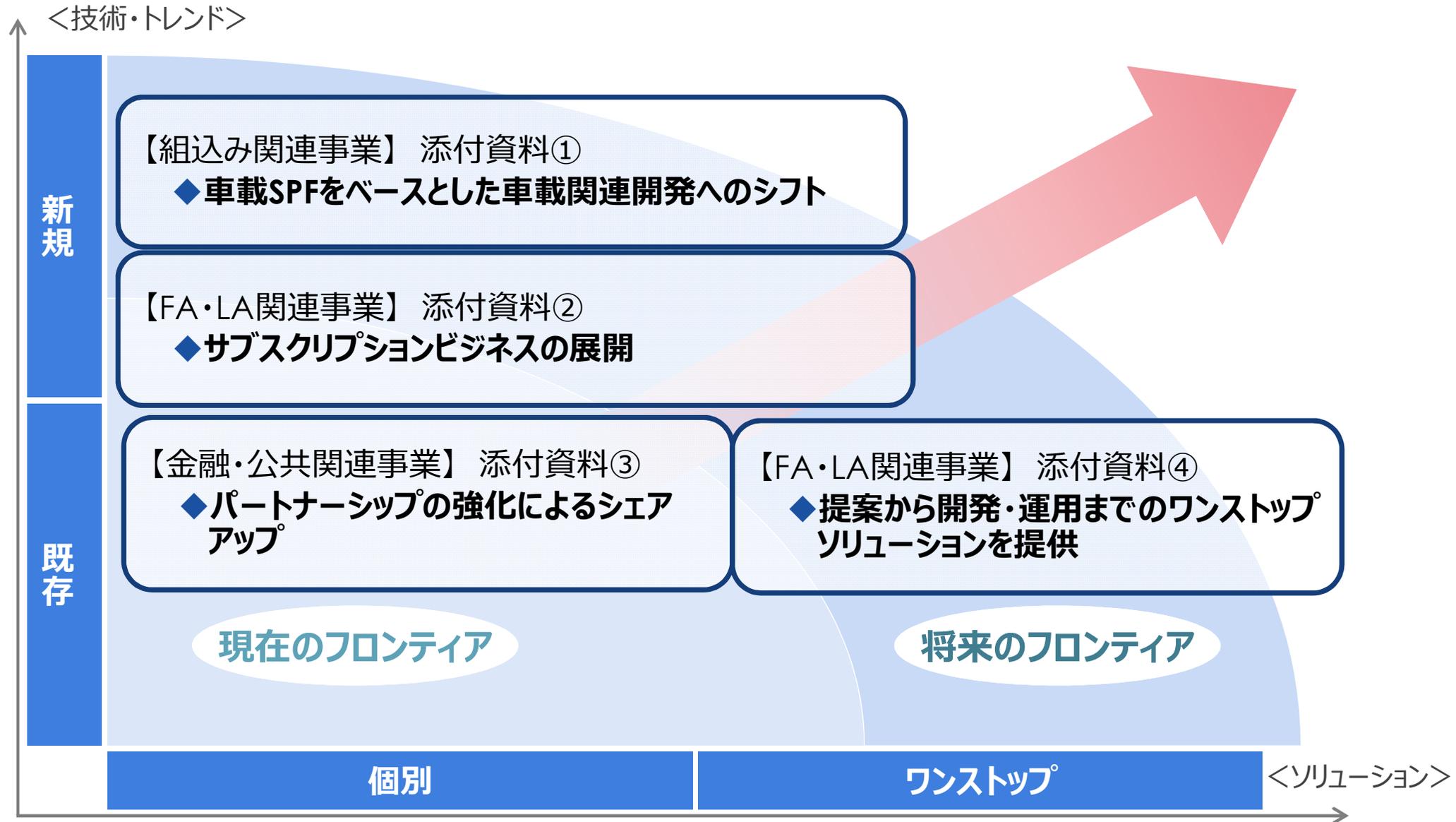
4

トータルソリューション提案に向けた3事業分野の融合

5

サブスクリプションビジネス（課金収益モデル）への挑戦

- 第4次産業革命の先にあるDX（デジタルトランスフォーメーション）に向け、確かな技術と多様なパートナーシップを基に、安定的な成長をめざします。



◆「AUTOSAR」プラットフォームのソフトウェア開発

組込みソフト

■ 得意分野で業容の拡大



ミドルウェア (MBD)

■ AUTOSARのモデルベース (MBD) 開発による事業価値向上

- 株式会社ネクスティエレクトロニクスと資本業務提携(2018年7月)
- 車載ソフトウェア開発の標準化・開発コスト低減・信頼性確保



NEXTY Electronics

プラットフォーム  
**AUTOSAR**  
Enabling continuous innovations

■ 車載ソフトウェアプラットフォーム「AUTOSAR」の推進

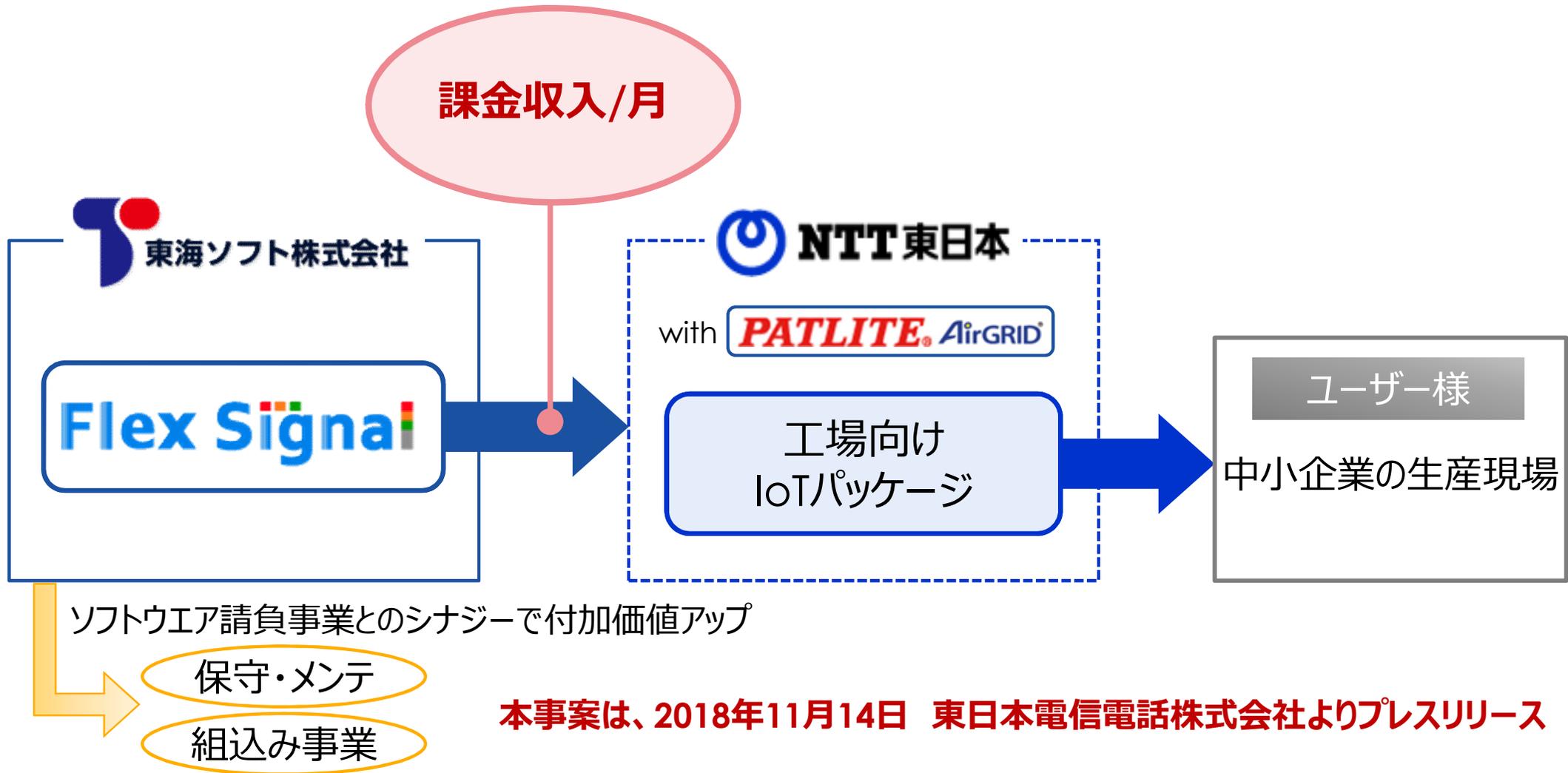
- APTJ株式会社へ出資 (2015年12月)、共同開発へ



AUTOSARプラットフォーム

## 添付資料② IoT技術を活用したサブスクリプションビジネスの展開

生産現場を「見える化」するIoTパッケージとして **FlexSignal（自社製品）** を提供



## 大規模プロジェクトの開発パートナーとして高い信頼性を発揮

### 公共関連開発

- ◆ 省庁、地方自治体、大学、公益法人等
- ◆ 継続利用される案件が中心

### 金融関連開発

- ◆ 主に大手金融機関向けのソフトウェア開発

## 日立グループとの強固なリレーションシップ

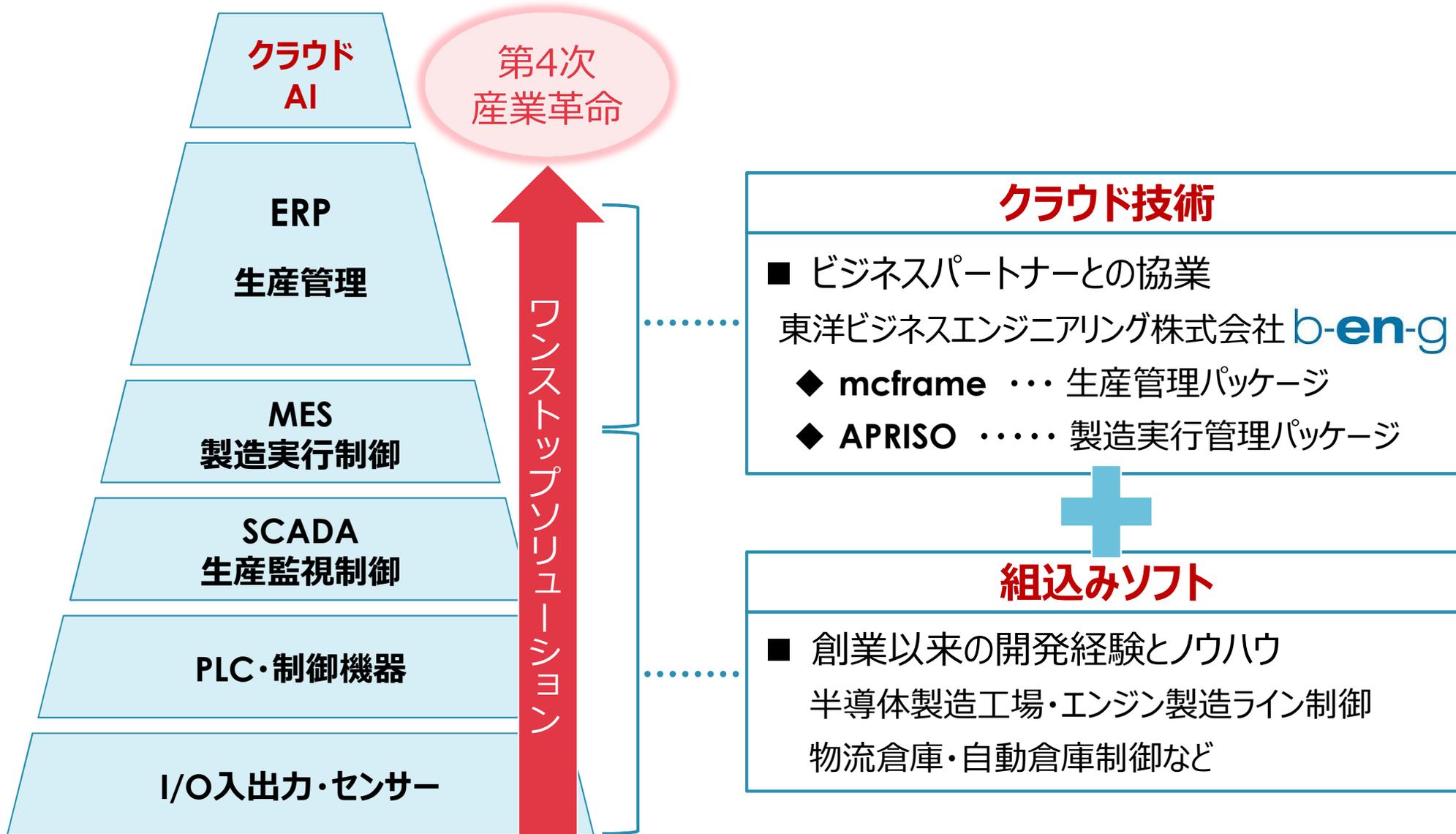
### 大型プロジェクトを担う開発力

—日立グループと連携する管理手法—

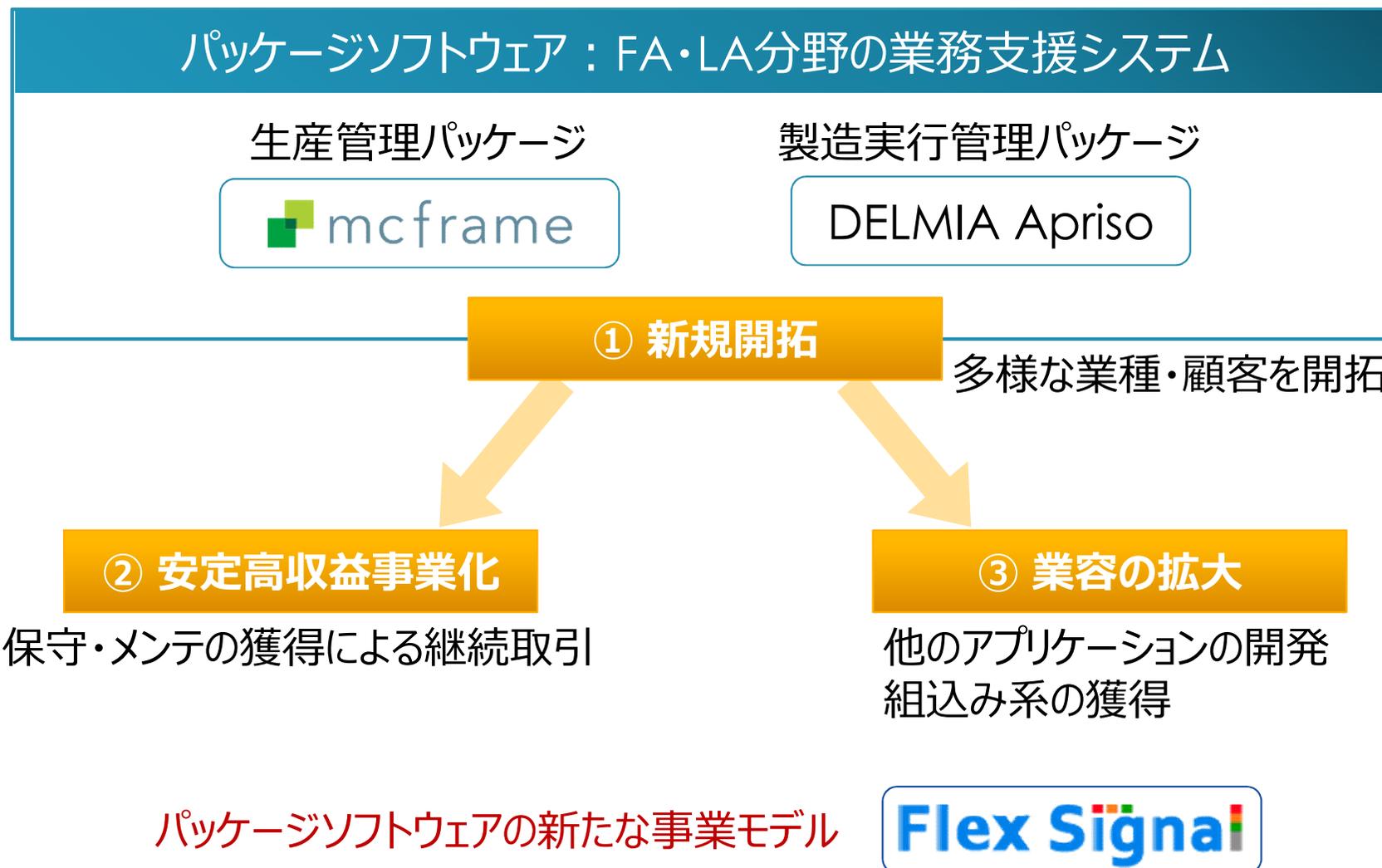
### 高いシステム品質とサポートの信頼性

—日立グループ固有の開発・品質管理手法—

ワンストップソリューションの提供へ



## 添付資料④-2 収益向上の起点となる、パッケージソフトウェア



生産管理パッケージは、mcframe（beng社（日本））、製造実行管理パッケージはApriso（ダッソー社（仏））  
「FlexSignal」は、当社が開発した簡易IoT（生産現場の見える化を実現する）パッケージ

当社は常に、

「ソフトウェア開発を通じて日本の産業界の発展を支える。」という気概を持って  
全社一丸となり、事業に邁進し企業価値の向上に努めてまいります。

引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

「顧客に価値を提供し続ける会社」

「顧客・社員・社会すべてに信頼される会社」

本資料に関するご注意について

- ・本資料には作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。  
これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、  
既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なる可能性があります。
- ・本資料に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

お問合せ先 東海ソフト株式会社 経営企画室室長 市野雄志  
TEL : 052-563-3572 E-mail : ir@tokai-soft.co.jp